

特集●生食のリスク

生食はリスクが伴う	——伝承料理研究家	奥村 彪生
肉の生食と感染症・食中毒	——国立医薬品食品衛生研究所衛生微生物部	工藤由起子
生食と腸管出血性大腸菌	——国立感染症研究所細菌第一部	寺嶋 淳
生食とカンピロバクター	——(財)顕微鏡院・食と環境の科学センター	伊藤 武
食肉・野生動物の生食と寄生虫症	——国立感染症研究所寄生動物部	山崎 浩
魚介類の生食と感染症・食中毒	——国立感染症研究所細菌第一部	荒川 英二
魚介類の生食と寄生虫症	——関西医科大学医学部公衆衛生学講座	西川 利正
生野菜と寄生虫症	——神戸大学大学院保健学研究科寄生虫学研究室	宇賀 昭二
生水と原虫症(生水のリスク)	——国立感染症研究所寄生動物部	永宗喜三郎・他
●視点		
結核分子疫学体制の今—克服すべき課題と展望について	——大阪市立環境科学研究所調査研究課	和田 崇之
●特別寄稿		
被災地における感染症対策	——聖マリア病院国際事業部長	浦部 大策・他

あ と が き

被災地に足を運ぶ度に様々な課題があることに気づかれ、公衆衛生は役割を果たしているのかと、今なお自問自答を繰り返しています(原発災害はいまだに終息しておらず、今後改めて誌面に取り上げてみる必要があると思っています)。大津波の映像を見ると、すべての人々が一瞬にしてのみ込まれてしまったようです。この大災害では、高齢者、乳幼児、体が悪い人、動けない人などの災害弱者はどうであったらうかと、気になっています。

公衆衛生は感染症、食中毒などの想定外の健康問題に対応するためにつくられた組織であります。東日本大震災は地域保健法が施行されてはじめての広域災害でしたが、公衆衛生が的確に機能できたのか、気がかりです。

関東大震災(1923年)の折には、被災者の医療救護活

動に、済生会などの民間団体のボランティアな巡回看護活動が貢献したことが知られています。特集内の石塚彩氏の報告を拝見し、民間団体のプラグマティズムを感じさせられました。また井戸敏三氏の報告の関西広域連合は、発足していきなりの実戦となりました。自治体間の調整がさぞかし大変だったろうと想像しています。石井正氏の「一寸先は闇」「備えあれば憂いなし」の言葉には、プロフェッショナルリズムを感じさせられます。

過ちを繰り返さないためには、失敗経験も貴重な情報だと思っています。今回の特集は、関西から被災地への応援・支援した保健行政関係者の報告が中心となりましたが、被災地の保健所の方々からの発信を、今後も引き続きお願いしたいと思っています。(高鳥毛敏雄)

公衆衛生(第75巻 第12号) 2011年12月15日発行(毎月1回15日発行)

定価 2,415 円(本体 2,300 円 + 税 5%)

2011 年年間購読料(税込定価、送料弊社負担)：冊子のみ 28,200 円、冊子 + 電子版 36,700 円、電子版/個人 28,200 円、電子版/共有 32,430 円

発行：株式会社 医学書院 代表者 金原 優 ☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

本誌編集室(担当/野中・能藤)：直通 TEL(03)3817-5718 FAX(03)3815-7802 E-mail: koshu@igaku-shoin.co.jp

販売部：直通 TEL(03)3817-5659・5660 FAX(03)3815-7804 振替口座：00170-9-96693 番

印刷所：三美印刷(株)TEL(03)3803-3131

広告申込所：(株)メディカルブレン TEL(03)3814-5980 デザイン：デザイン・プレイス TEL(03)6426-7805

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

© 2011. Printed in Japan.

・ 本誌に掲載された著作物の複写・複製・転載・翻訳・データベースへの取り込みおよび送信(送信可能化権を含む)に関する許諾権は医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ **JCOPY** (社)出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に、(社)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ <http://www.igaku-shoin.co.jp>

・ 公衆衛生 URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/koshu/>

編集顧問

多田羅浩三 大阪大学名誉教授・放送大学教授

編集委員 (50 音順)

阿彦 忠之 山形県健康福祉部次長・山形県衛生研究所長

品川 靖子 前 東京都文京区保健衛生部・文京保健所保健サービスセンター所長

高鳥毛敏雄 関西大学社会安全学部教授

西田 茂樹 福島県衛生研究所長